

事 務 連 絡
令和 5 年 7 月 1 0 日

報道機関 各位

函 館 市 病 院 局
管 理 部 庶 務 課 長

インペラの導入について(取材依頼)

当局市立函館病院では、この度「インペラ (I M P E L L A) 補助循環用ポンプカテーテル」を導入し、令和 5 年 7 月 3 日に道南で初の症例を実施いたしました。

つきましては、取材報道についてよろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

なお、取材は担当医師等がお受けする予定のため、日時を下記のとおりとさせていただきます。

※取材時は事前に下記までご連絡ください。

記

日 時 令和 5 年 7 月 1 3 日 (木) 1 6 時 0 0 分 ~
場 所 市立函館病院 旧精神棟 2 階応接室

以上

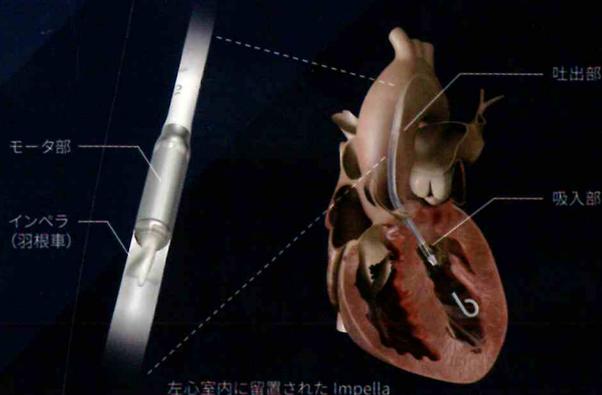
【取材時連絡先】
函館市病院局管理部庶務課
(市立函館病院)
担当 宮 本・澤 口
TEL 43-2000(内線 4209・4207)
E-mail:hmh@hospital.hakodate.hokkaido.jp

Impella®

The World's Smallest Heart Pump

製品の概要

- Impella (販売名: IMPELLA 補助循環用ポンプカテーテル) は、専用制御装置 (販売名: Impella 制御装置) と接続し、経皮的または経血管的に左心室に挿入し、循環補助・左室補助を行う心内留置型ポンプカテーテルです。ポンプカテーテルに封入されたインペラと呼ばれる羽根車が回転することにより、左心室内にある吸入部から血液を脱血し、カニューラを経て吐出部から上行大動脈内に順行性に送血します。
- Impella 2.5、Impella CP SmartAssistはそれぞれ 13 Fr ピールアウェイ式イントロデューサシース、14 Fr ピールアウェイ式イントロデューサシースを使用し経皮的に挿入、Impella 5.0はカットダウン法を用いて経血管的に挿入を行います。
- カテーテルであるため迅速かつ低侵襲に挿入・補助開始が可能であり、Impella 2.5、Impella CP SmartAssist、Impella 5.0ではそれぞれ、最大2.5 L/min、3.7 L/min、5.0 L/minの流量補助を行うことができます。



治療のコンセプト

Impellaを用いた治療のゴール

- Impellaは、低侵襲・迅速に挿入が可能であることから、心機能障害から心拍出量が低下し、臓器灌流の低下からの臓器障害の進展という急性心不全・心原性ショックの負の連鎖の早期に介入することが可能となります。
- また、循環補助・左室補助を同時に行うことが可能であることから、血行動態を安定化させるとともに、心負荷軽減・心筋保護による自己心機能の回復 (ハートリカバリー) が期待されています。

